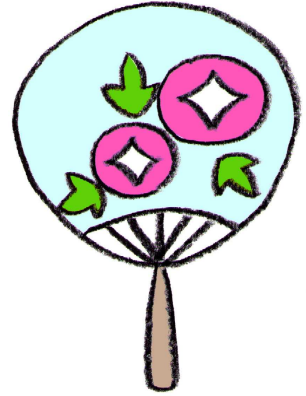


梅雨明けの宵 校長 三輪 秀文

夏休みを前にした週末の午後9時頃でしょうか、PTAの代表者会議ということで、PTAの役員の方が忙しそうに、校長室前を行き来していらっっしゃいます。わが子のためとはいえ、ボランティアで本校のために時間を割いていただいていることに、ただただ頭が下がります。本当にありがたいことです。

PTA会長さんが、帰る間に校長室に来られて、「四中のホームページ、いいですね。学校のことがよくわかりますよ。子どもがしゃべってくれないんで。」と、少しはにかみながら評価してくださいました。こういう保護者の声を願っているのです。会長さん曰く、子どもは、父親にはなかなか学校のことを話してくれないようです。本当に男親として共感します。帰り支度をした役員のみなさん



も集まってこられたので、「毎日、四中の情報を発信するようにしていますので、ホームページを見てくださいね」と宣伝すると、役員のお一人が「ホームページじゃなくて、『ホームペ』でしょ!? 見ましたよ」と、笑顔で応えてくださいました。おまけに「『校長室から』は、なんかブログみたいですね」と、ちょっぴりからかわれてしまいました。そのあと、「ペアルック」と「おそろ」で話が盛り上がり、関東出身の役員の方が、「おそろ」という言葉を、アクセントも含めて、上手に役員のみなさんにレクチャーして下さっていました。会長さんの「『おそろ』、何それ？ やっぱり『ペアルック』やで」と、少し意地になって主張している姿に、同じジェネレーションとして、いたく好感を抱いてしまいました。



張している姿に、同じジェネレーションとして、いたく好感を抱いてしまいました。

こういう話題提供ができている本校の「ホームペ」にちょっと自負を感じるとともに、PTA役員の方々との距離が近づいてきていることに、ただただうれしく感じる梅雨明けの宵でした。